

これであなたもオペラ通!初めての方も楽しめる、解説つきコンサート

いはらきオペラ亭

Vol.30 特別公演

《 魔 笛 》

(日本語上演・抜粋)

W.A.モーツァルト 作曲

ナビゲーター: 木村孝夫

パミーナ: 古瀬まきを / タミーノ: 諏訪部匡司 / 夜の女王: 長町香里 / ザラストロ: 西田昭広
弁者: 萩原寛明 / パパゲーノ: 木村孝夫 / パパゲーナ: 長谷川紗希 / モノスタス: 矢野勇志

ダーマI: 森井美貴 / ダーマII: 中村 茜 / ダーマIII: 西村 薫

クナーベI: 久保尚子 / クナーベII: 岩本真利 / クナーベIII: 安井裕子

合唱: いはらきオペラ亭アンサンブル / ピアノ: 田中雅子

2018

2/25 [日]

茨木市市民総合センター

14:00開演(13:30開場)

クリエイトセンター・センターホール

[全席指定] 1,800円 ◎茨木市観光協会、茨木市勤労者互助会、OSAKAメセナカード各会員は10%引き

*各会員割引の取扱いは文化振興財団のみです。 *就学前のお子様はご遠慮ください。

◆チケットのお申込み・お問合せ

茨木市文化振興財団・文化事業係 072-625-3055 (9:00~17:00) / インターネットチケット www.ibabun.jp

*予約後は1週間以内に下記のチケットカウンターでご精算ください。チケットの引取り・窓口販売は発売翌日からです。

・クリエイトセンター1階チケットカウンター (9:00~17:00) ・福祉文化会館3階チケットカウンター (9:00~17:00)

*インターネット予約については、コンビニ(セブンイレブン、サークルK、サンクス)でご精算・受取いただけます。(要手数料108円)

◆その他プレイガイド [11/20(月) 店頭販売あり 10:00~]

ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター対応) ・Lコード予約 0570-084-005 (Lコード:55456) ・<http://l-tike.com/>

*ローソンチケットの取扱いチケットはローソン、ミニストップ各店舗で直接購入できます。

チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード:343-579) ・<http://pia.jp/>

*チケットぴあの取扱いチケットはセブンイレブン、サークルK、サンクス各店舗で直接購入できます。

◆主催: (公財)茨木市文化振興財団 / 茨木市音楽芸術協会 ◆後援: 茨木商工会議所 / 茨木市観光協会

5回来場された方へは素敵なプレゼント!! 詳細は会場にて。

11月20日(月)9:00
予約開始!

財団の発売初日は
インターネット・電話予約のみです。
初日の電話予約は1回につき6枚まで。

関西から

文化力
POWER OF
CULTURE



パミーナ
古瀬まき



タミーノ
諏訪部 匡



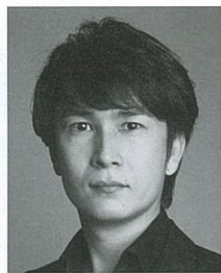
夜の女王
長町 香里



ザラストロ
西田 昭広



弁者
萩原 究明



パパゲーノ/ナビゲーター
木村 孝夫



パパゲーノ
長谷川 紗希



モノスタトス
矢野 勇志



ダーメI
森井 美貴



ダーメII
中村 茜



ダーメIII
西村 薫



クナーベI
久保 尚子



クナーベII
岩本 真利



クナーベIII
安井 裕子



ピアノ
田中 雅子

★ものがたり・・・

【第1幕】

時は昔、架空の世界。世界は昼と夜の二つに分かれている。「昼の世界の王」は「夜の世界の女王」と結婚し、パミーナという娘をもうけました。昼の王は死の直前、ザラストロに昼の世界の支配権を譲り、娘パミーナを養育するように頼みました。しかし夜の女王はこれに対して怒り狂い、パミーナを取り返し、昼の世界の支配権をザラストロから奪取しようとしています。

若い王子タミーノは岩山で大蛇に襲われ気を失いますが、夜の女王の3人の侍女(ダーメ)が彼を助けます。そこに鳥の狩猟中にたまたま通りかかったパパゲーノが「助けてやったのは自分だ」と嘘をつきました。パパゲーノは嘘つきの罰として、口に錠を掛けられてしまいます。タミーノは女王の娘パミーナの絵姿を見せられ一目惚れしてしまいます。すると雷鳴と共に夜の女王が現われ、捕らえられた娘を救い出してくれれば娘を王子に与えると約束しました。王子は侍女から「魔法の笛」を受け取り、ザラストロの神殿に行くことにします。一方、パパゲーノも成り行きで王子について行くことになり、「魔法の鈴」を受け取りました。

ザラストロの神殿への道中で離ればなれになってしまったタミーノとパパゲーノ。パパゲーノが先にパミーナを見つけ出し一緒に逃げようしますが、奴隷のモノスタトスにみつかりてしまいます。間一髪所でパパゲーノが魔法の鈴を鳴らすと、不思議な音楽に魅了され奴隷たちは去っていききました。

一方、タミーノは神殿の前で弁者に会い、彼から「お前は騙されている。悪人はザラストロではなく女王の方だ」と告げられてしまいます。心を乱されたタミーノは魔法の笛を吹くと、その音に導かれタミーノとパミーナはついに対面し、お互いを運命の人だと感じました。そこにザラストロが現われ、タミーノがパミーナを得るのに相応しい人間かを判断するため、試練を与えると宣言しました。

【第2幕】

ザラストロは悪人ではなく、夜の女王の邪悪な野望の犠牲とならないようにパミーナを保護していたのです。彼はタミーノにまず「沈黙の試練」を与えました。ついでにパパゲーノも恋人を得るために試練を受けることになりました。

パミーナが眠っていると、モノスタトスがやってきてパミーナへの狂おしい想いを語ります。そこに夜の女王が現われ、女王は復讐の思いを強烈に伝え、パミーナに短剣を渡し、これでザラストロを殺すように命じて去りました。隠れていたモノスタトスが出てきてパミーナに迫りますが、ザラストロが現れ、彼を叱責します。モノスタトスは「夜の女王に寝返るか」と、つぶやき去っていきます。パミーナが母の命令のことを話すと、ザラストロは「この神聖な殿堂には復讐などはいらない」と理想の世界を伝えます。

沈黙の試練を続けるタミーノのもとに、事情を知らないパミーナが現れますが、彼は何も話してくれません。パミーナは愛想をつかされたと勘違いし、悲しみ、その場を去ります。パミーナは母のくれた短剣で自殺しようしますが、3人の童子(クナーベ)が現れてそれを止め、彼女をタミーノのもとに連れて行きます。タミーノが「火と水の試練」に立ち向かっているところにパミーナが合流し、魔法の笛を使って、無事に試練に打ち勝ちます。

一方のパパゲーノはというと、辛抱するのは大嫌いで、試練から脱落してしまいます。人生に絶望して首を吊ろうとしていると、再び童子たちが現れ魔法の鈴を使うように勧めます。すると不思議なことに可愛いパパゲーノが現れ、2人は喜んで「子どもを大勢作るんだ」と語り、森に帰っていききました。

計画がうまくいかない夜の女王は、最後に侍女と共に神殿に侵入を試みます。しかし、突如雷鳴に打たれ闇夜に落ちていききました。ザラストロは試練に打ち勝ったタミーノ、パミーナたちを祝福し、皆もそれを讃えました。

◆チケットのお申込み・お問合せ

(公財)茨木市文化振興財団・文化事業係 072-625-3055(9:00~17:00)/インターネットチケット www.ibabun.jp

*財団の発売初日はインターネット・電話予約のみです。お席のご指定もうかがいます。座席表をご用意いただくと便利です。

*予約後は、1週間以内にクリエイティブセンター及び福祉文化会館チケットカウンターでご精算ください。

*インターネット予約については、コンビニ(セブンイレブン、サークルK、サンクス)でご精算・受取いただけます。(要手数料108円)

*予約チケットの郵送をご希望の場合は、〈チケット料金+郵送手数料400円〉を郵便局備え付けの「払込取扱票」でお支払いください。手数料はご負担願います。払込確認後の発送となります。

〈払込口座〉00970-7-190576/加入者名:茨木市文化振興財団

